

# 九州のなかま

2008 - 17

春闘情報: NO. 5

発行日 : 2009年3月23日(月)

発行者 : 生協労連 九州地連

## 生協労連第87回中央委員会

### 厳しい回答続出! ベアなし、一時金削減!!

3月20日(金)から21日(土)東京大崎・南部労政会館にて、生協労連第87回中央委員会が開催され、九州地連からは5人の中央委員が参加しました。09春闘の回答引き出しと上積みを求めるたたかいはこれから本番、働く者の自らの手で展望を切り開いていきましょう。

今後の労使交渉に向けた基本姿勢は以下の4点です。①理事会に説明責任を果たさせ、今後の生協運動の展望を切り開こう。②働くものの労働実態、職場運営の実態の解決は緊急課題。③パートの処遇改善を改正パート法の積極的活用で実現しよう。④政治革新をめざして。

具体的なすすめかたは、①「定昇の確保」を基本としつつ、ベースアップと底上げ、均等待遇実現に全力をあげよう。②均等待遇の実現、実効あるパート法の改正を求める運動を広げよう! ③働きやすい職場をつくるために、雇用と労働条件を守る要求の前進をねばり強く追求しよう。④厳しい情勢をチャンスと捉え、生協運動の前進のための徹底した議論を開始しよう。職場論議を重視し、職場のなかまの声を集めきって理事会と交渉しよう。



開会挨拶をする中野さん



議事運営委員の中山さん



発言する東江さん



発言する福丸さん



資格審査委員の永吉さん

## 生協労連動くシンポジウム: 横浜港港湾調査に参加しました!

3月19日(木)、横浜港湾労働組書記長奥村芳明さんの案内と説明により、横浜山下埠頭を見学しました。輸入食品が無造作に山積みされ、太陽や風雨にさらされながら、数年も港で過ごすものもある、ということでまず目にしたのは、青いプラスチック製の樽に薬品漬けになっている「細竹」、他にはしょうが、きゅうり、なす、野沢菜、大根と書かれた木箱もテント倉庫と呼ばれる簡易倉庫に山積みされていました。そのまわりには虫一匹、ハエ一匹飛んでいませんでした。これが何を意味するか…。輸入食品は食品ではなく、“原材料”ということで食品衛生法の適用外ということ。野積み食品は加工され、その土地の特産物として現地の工場で多くの薬品を使って立派な土産品などに仕立てられると、恐ろしい実態、現状です。「食」とは「人」が「良くなること。安全で新鮮で栄養があること。安くて美味しければいいということではありません。(写真上の中身は薬品漬けた細竹、写真下の中身は塩漬けた野沢菜)



野積みにされている青いプラスチック樽



テント倉庫に山積みされている木箱

お願い: 2009年春闘関連の取組み 他の情報を地連まで FAX: 092-947-9193